

檀原市立図書館だより

平成26年2月10日発行
第28号

檀の樹

JBBY講演会
「本は不思議の扉」
P2～7

お知らせその他
P8



橿原市立図書館

〒634-0075
橿原市小房町11-5

TEL:
0744-29-2121

FAX:
0744-29-1011

http:
//www.city.kashihara.jp/
toshokan

編集後記

サーカスのライオン

川村たかしさんは多くの作品を残した。「山へいく牛」や「新十津川物語」が名高いが、短編の中にも忘れたい佳品が多い。▼ライオンには老いが忍び寄っている。見世物の一員に甘んじている彼には、百獣の王だったころの覇気はない。時折、過去の雄姿を思い出す。だが、もう戻ることはできないことも知っている。彼の鷹揚さとやさしさは、その断念の深みから滲み出てくる。火の粉を浴びながら、火の輪ぐりの曲芸を繰り返す彼を、観客の少年が慕う。落ち目の勇者と鍵っ子少年の交流は、ヘミングウェイの名作と同様に美しい。▼少年の家が炎に包まれたのを知ったライオンは、檻を破る。咆哮を放ち、火中の少年を救い出した瞬間、自身は火の玉となって夜空に消えた。「つぎの日はサーカスのおしまいの日だった。～おじさんはひとりでチタツとむちをならした。～それでもおきやくはいっしょうけんめいに手をたたいた。ライオンのじんざが、どうにかえってこなかったかを、みんながしていたので。」▼メルヘンを読み取ることができる。ペースを感じ取る読者もいるだろう。田舎町で偶然見かけた、うらぶれたサーカス小屋の光景がモチーフになったと、川村さんが記している。「誰もがサーカスのライオン……」そんな著者のつぶやきが、聴こえてきそうな一冊だ。
(編者)

館内展示 五條の作家 川村 たかし

五條市出身の児童文学作家川村たかし氏関連の資料を展示します。直筆ノートやラジオ番組の台本など、作家の風貌と息遣いが身近に感じられる遺品をご覧ください。



3月21日(金)～5月14日(水) 図書館2F展示コーナー

川村 たかし(1931～2010)

本名隆。奈良学芸大学(現奈教大)卒。県立五條高校、梅花女子大学文学部等にて教職の傍ら、児童文学作品を執筆。「山へいく牛」(野間児童文芸賞、国際アンデルセン賞優良作品賞)、「新十津川物語」(産経児童出版文化賞)、「天の太鼓」(日本児童文芸家協会賞)など著作多数。

特別整理期間に伴う休館と特別貸出のお知らせ

2月17日(月)から2月28日(金)まで休館します。
併せて、図書館システムの入れ替えと保守点検を実施するため、2月16日(日)17:00 から 3月1日(土)9:30まで、インターネットサービスを休止します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

* 特別貸出について

| | |
|------|---|
| 期 間 | 2月16日(日)まで |
| 貸出点数 | 図書 雑誌 ひとり10冊まで(通常5冊) 視聴覚資料 ひとり4点まで(通常2点) |
| 貸出期間 | 図書・雑誌、視聴覚資料ともに4週間(通常2週間) |

表紙の写真

11月30日に開催したJBBY講演会講師の富安陽子さん。息子さんたちはすでに成人されたようですが、子育て時の様々な出来事が、作品の背景になっています。約60人の参加者が、笑いの絶えない講話を堪能しました。